

# 年金の仲間 かながわ

題字は仮のものです。みなさんの投稿をお待ちします。

全日本年金者組合神奈川県本部  
横浜市中区桜木町3の9 横浜平和と労働会館内  
☎ 045 (201) 8 7 6 8

89.9.25

## 結成記念特集



# ゆたかな人生、若々しい未来 年金者の砦 神奈川県本部結成

一九八九年九月十日、横浜駅近くにある横浜県政総合センター二階の大ホールで、私たち年金者待望の「全日本年金者組合神奈川県本部」結成大会が開かれました。

二月二十八日準備会結成以来百九十三日、各地区での学習会、組合員拡大のための訪問と連日の奮闘の結果の誕生。喜びもひとしほです。この日は、東は川崎、西は小田原に至る県下三支部、十三準備会から百二十名を越す代表が集まり、さらに「新聞報道を見て私も話しを聞かせて」と、十三名の方が傍聴参加され、組合結成の期待の大きさ、これからの運動の重大さを物語っていました。

この日、三十度を越す残暑の中、椅子並べにひと汗かくうち、「みんなの組合」結成の意気込みで明るい顔

々、代表が続々参集、定刻一時三十分にはきちっと開

の司会で進行、準備会を代表して小泉事務局長は、八月三十日には全日本年金者組合が結成され、神奈川県も二十五番目の県として戦列に正式に加わることになりました。……今日ここに八百余名の組合員とともに結成を迎えることができました。……と支援団体に感謝の意を表しつつ、さらに組合員の労をねぎらいながら「安心して生活できる年金制度を確立する」私たちの運動は、最終的には自民党政治の基本姿勢を転換させる大事業と位置づけ「いま危機にたつ公的年金を救うものは私たち自身」とたたかひの決意を込めて訴えました。



このあと大会議長、齊藤嘉忠(川崎)秋山吉夫(戸塚)のお二人のチームワークで、大会幹部団、役員選考委員、議事運営委員の任命が行なわれ、別項七名をこす来賓の激励のあいさつ祝電、メッセージが紹介さ

れ、各界からの期待の大きいこと、希望の深いことをひしひしと感じる中、議事に入り、討論は半年に亘る活動を総括し、これらの教訓に立って組合員の拡大・要求実現の展望が話され感動をよびました。(別項)こうして、すべての議案は満場一致採択され、役員選出のあと、当面の重点課題である「公的年金の改悪に反対し、抜本的制度改善を求める決議案」と「消費

税廃止の運動を強化する決議案」が提案され、若々しい拍手の中で採択されました。大会は腹の底からこみあげる「団結ガンパロー」三唱のうちに幕を閉じました。ひきつづき開かれた祝賀パーティーには、結成の感激さめやらぬ七十余名が参加追加料理もたちまち空になるほどの健啖ぶり、二時間、明日からの活動を誓いあつて散会しました。

### 連帯・激励を いただきました

（立木 寛）

敬称略・順不同

- 日本共産党神奈川県委員会 赤崎 末人
- 日本共産党教育・福祉対策委員長 齊藤よし子
- 日本共産党横浜市議員 高橋紀代子
- 県労組連代表委員・県国公共闘議長 原 達郎
- 県高齢者問題地域連絡会 会長 大石 重一
- 県民主医療機関連合会 事務局長 小西 敏勝
- 横浜市従労組退職者会 会長 佐々木修二
- 全日本年金者組合中央本部書記長 小島 宏
- 日本共産党横浜市会議員 大貫 憲夫
- 横浜合同法律事務所 弁護士 稲生 義隆
- 神奈川県労働金庫営業推進部調査役 東城 敏実
- 横浜地区労務局長 高橋 勝也
- 神奈川県労働組連事務局長 大谷 勉

### （メッセージ）

- 敬称略・順不同
- 横浜市従業員労働組合
- 全日本年金者組合
- 北海道準備会
- 同 右 宮城県本部
- 同 東京都本部
- 同 千葉県本部
- 同 長野県本部
- 新潟県準備会
- 京都府本部
- 大阪府本部
- 広島県本部
- 福岡県本部

### （祝電）

- ★全国一般労組神奈川県本部
- ★神奈川県建設労連
- ★神奈川県生協労働組合
- ★新婦人神奈川県本部

### 団結してが んばります

初代役員

- ★馬車道法律事務所
- ★税理士 益子 純一
- ★日本共産党衆議院議員 中路 まさひろ
- ★日本共産党県副委員長 小泉 初恵



- ◎執行委員長 小泉 重利(元国労)
- ◎副執行委員長 三浦 利男(県労組連)
- ◎執行委員 小林 正一(元高教組)
- ◎執行委員 田沢 一三(横浜地区労)
- ◎執行委員 池上藤五郎(元川労協)
- ◎執行委員 秦 謙治郎(元県職労)
- ◎書記長 栗山彦七郎(元全税関)
- ◎書記次長 栗田 常光(元都教組)
- ◎執行委員 林 清人(元国労)
- ◎執行委員 森 信幸(元川教組)
- ◎執行委員 井上 高雄(小田原)
- ◎執行委員 内堀 正三(横浜西部)
- ◎執行委員 川島 清亮(横須賀)
- ◎執行委員 坂本 正行(県北部)
- ◎執行委員 佐藤 光助(厚木)
- ◎執行委員 戸所 慶造(湘南)
- ◎執行委員 藤川 繁男(神奈川県)
- ◎執行委員 深野 忠好(横浜南部)
- ◎執行委員 山口 順久(戸塚区)
- ◎執行委員 山部 健次郎(津久井)
- ◎会計監査 青山 昭元(川崎)
- ◎会計監査 明田 剛一(戸塚)

# 年金者宣言

一九八九年九月十日

歴史の新しい一ページを開くために  
私たちはきょうここ横浜・県政総合センターに集まった

ときは激動の時代を迎えている。

底なしのリクルート疑惑、消費税の強行、農業の破壊  
悪政にたいする国民の怒りの波は、地鳴りをともなって  
自民党を揺るがし腐りきった政治の転換をせまっている

四〇年の政権と三〇〇議席におごり高ぶった自民党は  
金が万能の政治をつくり出し庶民の生活をかえりみない  
毎年突出する軍事費は、日本を世界第三位の軍事大国に  
押し上げ

大企業には隠しようのないほどのもうけをあげさせた  
高齢になって生きていることが犯罪であるかのような宣  
伝が公然と行われ

貧しいものにはさらに貧しく、富むものにはさらに富む  
社会がつくられてきた  
大企業労組中心の労働組合運動はその機能を果たさず  
労働者を見捨てている

自民党政治の悪政のひとつは  
「高齢化社会」を口実にした、年金改悪、福祉の切り捨  
てである

戦前、戦中、戦後を働きぬいて、経済発展につくしてき  
た高齢者は  
いま、病氣、貧困と孤独のなかで、肩身のせまい生活を  
強いられている

もうこれ以上黙っているわけにはいかない  
私たちは準備を開始した

年金受給者が自らの要求をたたかう自らの組織をもとう  
すべての種類の年金受給者を一つの組織に結集し  
県内すべての市町村に組織を持つ労働組合として  
安心して生活できる年金制度の確立のために  
高齢者の社会的地位を高め、人間の尊厳を守るために  
たたかうナショナルセンターの一翼をになつて  
正しい労働組合運動を発展させるために

きょう私たちは全日本年金者組合神奈川県本部を結成

した

神奈川県内のすべての年金受給者によりかけける  
みんなの力でゆたかな人生を送るために歩きだそう  
日本で初めての経験である

歴史的な年金者組合の結成は、歴史の流れとともにある  
ゆたかな経験とあらゆる知恵を結集し、新しい運動を創  
造しよう

産業、企業をのりこえたこの組合は無数の可能性を秘め  
ている

数万、数十万の組合をめざして、壮大に道を歩みはじめ  
よう

一九八九年九月十日

全日本年金者組合神奈川県本部結成大会

## なんとしても強大な組合に 共感よんだ六氏の発言

川崎 笠原 儀一

八月の二十日に八月十五  
日を語る会を開催し、二十  
数名の参加でしたが、戦時  
中の想い出を語り合い、戦  
争の悲惨さを語り継ぐ問題  
や、二度と戦争を起こさな  
いようにすること等、話し  
に花も咲き、二部ではもち  
まえの余興も飛び出して、  
たいへん盛況でした。

川崎では十八年続いた革  
新市政を継承発展させるこ  
とができるかどうかの市長  
選挙が十一月行われます。

会員の拡大とともに市長  
選も勝って、数百名の会員  
を迎えて今年は大規模な組合  
としては、初めての忘年会  
をやるうと話し合っています。

担当しています。川崎の

「山間部」といっても、信

じない人が多いと思います。  
その地で、幸いなドライブバ  
ーかつ名ガイドに出会いま  
した。尋ねる先によつて、  
単車、ジープ、乗用車と使  
い分けて、行動日を設けて  
走り回りました。先々では  
よく訪ねてくれたと感謝さ  
れました。「足でまわる」  
その必要と、効果を知るこ  
とができました。

同時にまた、組合員の側  
から会議や、連絡に向向く  
ことの困難さも身にしみて  
理解することができました。  
支部の事務所まで片道五

〇〇円、一時間以上という  
負担。  
私は、分会を「支部」が  
果たす機能までレベルを高  
める必要性を痛感するもの  
です。



川崎 青山 昭元

ストライキの手段を持た  
ない私たちの要求は、地域  
に根付いた「数の力」によ  
らねば達成されません。そ  
の見地で五月十四日支部結  
成以来分会づくりに取り組  
んできました。

市全体では結成時の組合  
員一七名、現在一八〇名  
と決して順調に伸びている  
訳ではありません。南北に  
(本当は東西に)細長い川  
崎で、私は北部四行政区を

取り組みの教訓は三つあ  
ります。第一は、戦後培わ  
れた民主勢力の力と影響力  
に徹底して依拠したという  
ことです。保守勢力の力が  
強い小田原地方でも、それ  
は相当なものです。

第二は、教育、宣伝活動  
を重視したことです。準備  
会のニュースやピラは、結  
成総会まで十回、総計で六  
万枚あまり発行し新聞折り  
込みなどで宣伝しました。

## 支部結成の日程

九・十七(日)	神奈川県	三浦半島
" "	湘南	戸塚
" "	津久井	北
九・二三(土)	横浜西部	野
十・八(日)	厚木	

第三は、これらの活動を  
支える募金運動を先行させ  
たことです。

社会的にも窓口を開いた  
事務所の開設と常駐体制を  
取ることをめざして取り組  
みたいと思っています。

横濱南部 小見山 肇

昨日、九日に八十名の組  
合員で支部を結成しました。  
現在の組合員は、社会、  
政治問題に関心の深い人た  
ちが大半です。

地域で多くの活動をして  
いて多忙な人たち、健康を  
害している人たちが多くい  
ます。入会の呼び掛けに行  
きますと、そういう組織は  
必要であると思うが、こ  
ういう状態なので入っても活  
動できないと言われます。

このような人たちに知恵  
を出してもらおう、知人を紹  
介してもらおうとか、出来る  
ところから行動に参加して  
貰うことが組合員拡大の鍵  
ではないかと思えます。

神奈川県 藤川 繁 男

選出された準備委員十人  
は、毎月定例委員会を開き  
活動してきました。

年金組合の宣伝と加入の  
訴えのチラシ一万二千枚を

「赤旗日曜版」に二回折り  
込み：区内民主勢力のご協  
力で年金組合対象者名簿を  
作成し、拡大統一行動を実  
行：二十一人を訪問、当  
日の加入は二人でした。  
(中略)

厚木 佐藤 光 助

私も、厚木支部準備会  
も六日までに五十名を目標  
とした会員を達成したこと  
をご報告いたします。

私たちのたたかいは、理  
に年金生活者としての要求  
にとどまらず、後に続く多  
くの人々に大きな希望と展  
望を与えるその意義は重大  
であります。壮大な組織と  
使命感に燃えて共に頑張る  
ことを訴え私の発言を終わ  
ります。

## お詫び

折角、六人の方から発言  
原稿をお寄せいただきまし  
たが、紙面の都合で全文掲  
載できませんでした。  
お詫び申し上げます。